



南クロフネカンパニー代表

中村 文昭

僕は今北海道で農業をやっています。今年は14人いまして、引きこもりさんとかニートさん、リストカッターさんや少年院上りの子、いろんな子がいます。以前、延岡で講演したとき、アトピーのひどい青年が来ていたんですけど、彼はアトピーが原因ですつとじじめられていて、引きこもっていました。

「一緒に農業しないか？」と誘ったら、数日後、彼は北海道に来ました。

「お前な、いつもジャンクフードとかコーラとか、そんなもんばかり食べて飲んで、自分の体のことなんて考えたことのない生活をしてきたんだらう。ここに来たんだからその体重をスカッとしてみないか。そしてアトピーも治してみないか。ピフオ！アフターやろうぜ」と言っつて、パンツ一丁にして写真を撮りました。そして、半年掛けて薬を使わずにアトピーを治そう、奇跡を起そうと今やっています。

## 訳ありの子たちが農業で生まれ変わる

◇12◇

農場では共同生活をしていて、清涼飲料水、スナック菓子、カップラーメン、ハンバーガーなどは一切食べられません。野菜中心です。その延岡から来た子は2カ月で9<sup>キ</sup>痩せました。彼は「あと6<sup>キ</sup>痩せる」と頑張っています。

□ ■ ■ □

ここではマリちゃんという、先天性脳性麻痺の女性が全員の食事を作っています。不自由な手に包丁を挟んで一生懸命料理を作ります。めちゃくちゃおいしい料理を作ってくれます。14人分の食事を一日3回、毎日一人で作るんです。

しかもうちには冷凍庫も電子レンジもないのでマリちゃんも冷凍ものなんか買つてきません。出来るだけ無添加の食材を買つてきます。塩も厳選し、砂糖も黒砂糖しか使いません。

ある日、隠れてカップラーメンを食べた奴がいました。そのとき、マリちゃんは涙をポロポロ流しながら、こう言っただけです。

「ごめんね。私がカップラーメンより美味しいものを作れなかったからでしょ。もつと美味しいもの作るからもうちょっと待っててね。あなたたち、自分の体をもつと大事にしてね。自分の体を自分だけの体だと思つてはダメよ。自分の体は将来あなたたちから産まれる子どもから預かっている体なんだよ。だから体にいいものを食べてほしい。私にできるのは体にいいものを作るだけ、それしかないの」

実は、それまでみんな隠れてコーラ飲んだり、カップラーメン食べたりしていたらしいんですけど、この日から一切やめました。みんなマリちゃんが一生懸命作ってくれる三度の食事だけになりました。

みんな好き嫌いを言いませんし、食べ残しなんか一切しません。きれいに食べた後、当番を決めて片付けます。便所掃除も風呂掃除も全部自分たちでやります。毎日4時に起きてトウモロコシをもぎます。日が昇る前にもがないとトウモロコシの甘みがなくなるんです。朝4時起きはきついですけど、マリちゃんに励まされてみんなやっています。脱落者は一人もいません。

(高鍋西都法人会が主催した講演会にて)